



2023年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月15日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松本 清一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 小松原 達也

TEL 03-3664-3980

定時株主総会開催予定日 2023年6月23日

配当支払開始予定日 2023年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,839	3.9	897	116.8	660	66.1	556	124.3
2022年3月期	12,361	11.4	413	89.0	397	125.2	248	14.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	25.51		5.0	3.1	7.0
2022年3月期	11.37		2.3	1.9	3.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	22,118	11,478	51.9	525.98
2022年3月期	21,172	11,004	52.0	504.23

(参考) 自己資本 2023年3月期 11,478百万円 2022年3月期 11,004百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	668	1,237	158	1,143
2022年3月期	1,787	442	772	1,856

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		4.00	4.00	87	35.2	0.8
2023年3月期		0.00		7.00	7.00	152	27.4	1.4
2024年3月期(予想)		0.00		7.00	7.00			

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	5.1	840	6.4	810	22.7	600	7.8	27.49

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	21,974,000 株	2022年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2023年3月期	149,964 株	2022年3月期	149,140 株
期中平均株式数	2023年3月期	21,824,435 株	2022年3月期	21,825,275 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限が徐々に緩和され、旅行支援や円安によるインバウンド消費回復も見られたことから、経済活動は緩やかながら正常化に向かっていきました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギーコスト高騰によって、各種物価の上昇が進み、また、海外各国でのインフレ抑制を目的とした利上げ政策等の影響を受け、日本銀行も長短金利操作の運用の一部見直しをするなど、景気回復への見通しはまだまだ不透明であります。

化学工業におきましては、堅調だった半導体関連材料も緩やかに停滞する動きを見せており、原材料やエネルギーコストの高騰による収益圧迫など、引き続き予断を許さない状況にあると認識しております。

こうした状況下でありながらも、当社は外部環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、昨年7月に大規模な設備投資を機関決定するなど、製品の安定供給が社会的使命であるとの認識のもと、重要課題を克服・解決しながら、持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

当期の業績状況としましては、売上高は4期連続で過去最高を記録し、前期比3.9%増の12,839百万円となり、売上高の増加並びに経費の節減等による売上原価低減、輸送コストに落ち着きが見られたことなどにより、営業利益は前期比116.8%増の897百万円、経常利益は前期比66.1%増の660百万円、当期純利益は前期比124.3%増の556百万円と大幅に増加しました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2022年3月期通期				2023年3月期通期			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	974	3,437	4,411	35.7	1,247	3,769	5,017	39.1
化成品関係	2,628	514	3,143	25.4	2,752	644	3,396	26.4
医薬品関係	3,049	1,756	4,806	38.9	3,729	695	4,425	34.5
合計	6,652	5,709	12,361	100.0	7,730	5,108	12,839	100.0
構成比(%)	53.8	46.2	100.0		60.2	39.8	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

医薬用途、工業用途の輸出販売が好調であったことから、売上高は5,017百万円と、前期と比べ605百万円(13.7%)の増収となりました。

(化成品関係)

半導体表面処理剤、高分子材料、農薬中間体の販売が増加したことにより、売上高は3,396百万円と、前期と比べ253百万円(8.1%)の増収となりました。

(医薬品関係)

国内向け原薬の販売は増加したものの、一部の原薬及び原薬中間体の輸出販売が減少したことから、売上高は4,425百万円と、前期と比べ381百万円(7.9%)の減収となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末から659百万円増加いたしました。これは主に、売掛金、製品の増加と、現金及び預金の減少によるものであります。

(固定資産)

当事業年度末の固定資産は、前事業年度末から286百万円増加いたしました。これは主に、機械及び装置の増加と、建物の減少によるものであります。

(流動負債)

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末から834百万円増加いたしました。これは主に、買掛金、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、未払金、未払法人税等、賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

当事業年度末の固定負債は、前事業年度末から363百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末から474百万円増加いたしました。これは主に、繰越利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,143百万円となり、前事業年度末に比べ712百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は668百万円(前期は1,787百万円の増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益641百万円、減価償却費928百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加969百万円による資金の減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は1,237百万円(前期は442百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,155百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は158百万円(前期は772百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増額220百万円と、長期借入金の返済による支出399百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルスの流行は継続しているものの、ウィズコロナの浸透とともに、経済活動も徐々に活発になるものと思われませんが、ウクライナ情勢の長期化などによる原燃料の高騰や、為替動向の不透明などにより、当社を取り巻く事業環境は、引き続き予断を許さないものと見ております。

このような状況の中、当社は2024年3月期を起点とする3カ年の中期経営計画を策定し、『激変する経済環境の中、主要製品の売上を拡大しながら、新製品を継続的に導入し、以て向こう10年間の成長に資する礎を築く』を基本方針に、新たな目標を達成するための経営課題に取り組み、より一層の収益力向上を図ってまいります。新たな中期経営計画の重点施策は以下5点ですが、詳細につきましては、本日発表の「新中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご覧ください。

「新中期経営計画の重点施策」

- ・クオリティーカルチャーの醸成
- ・企業価値の向上
- ・アミノ酸分野の事業構造改革
- ・医薬品分野の受託ビジネス拡充
- ・化成品事業の拡大・再構築

当社の2024年3月期の業績見通しにつきましては、以下のとおりであります。

売上高	13,500百万円
営業利益	840百万円
経常利益	810百万円
当期純利益	600百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS(国際財務報告基準)導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856	1,143
受取手形	209	133
売掛金	2,554	2,866
製品	3,379	4,456
仕掛品	414	128
原材料	1,552	1,766
貯蔵品	59	23
前払費用	51	48
その他	285	455
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,362	11,021
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,078	6,108
減価償却累計額	△3,800	△3,939
建物(純額)	2,277	2,168
構築物	2,717	2,799
減価償却累計額	△1,942	△2,001
構築物(純額)	775	798
機械及び装置	19,112	19,832
減価償却累計額	△17,248	△17,592
機械及び装置(純額)	1,863	2,239
車両運搬具	77	77
減価償却累計額	△69	△73
車両運搬具(純額)	8	4
工具、器具及び備品	1,678	1,733
減価償却累計額	△1,462	△1,501
工具、器具及び備品(純額)	216	231
土地	3,110	3,110
リース資産	442	444
減価償却累計額	△237	△274
リース資産(純額)	205	169
建設仮勘定	66	98
有形固定資産合計	8,523	8,821

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
無形固定資産		
借地権	21	21
ソフトウェア	11	8
リース資産	179	239
その他	3	3
無形固定資産合計	216	274
投資その他の資産		
投資有価証券	1,506	1,611
関係会社株式	101	101
出資金	0	0
従業員に対する長期貸付金	14	11
長期前払費用	14	0
繰延税金資産	251	235
その他	182	41
投資その他の資産合計	2,070	2,000
固定資産合計	10,810	11,096
資産合計	21,172	22,118
負債の部		
流動負債		
支払手形	143	142
電子記録債務	322	345
買掛金	1,770	1,945
短期借入金	3,500	3,720
1年内返済予定の長期借入金	379	519
リース債務	91	119
未払金	201	365
未払費用	48	66
未払法人税等	50	104
前受金	9	0
預り金	10	11
賞与引当金	168	235
設備関係支払手形	44	78
設備関係電子記録債務	44	61
設備関係未払金	118	79
その他	67	8
流動負債合計	6,969	7,803
固定負債		
長期借入金	1,164	825
リース債務	317	320
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	1,099	1,073
資産除去債務	14	14
その他	1	1
固定負債合計	3,199	2,836
負債合計	10,168	10,639

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金		
資本準備金	3,250	3,250
資本剰余金合計	3,250	3,250
利益剰余金		
利益準備金	322	322
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	44	44
別途積立金	1,822	1,822
繰越利益剰余金	1,445	1,915
利益剰余金合計	3,634	4,103
自己株式	△47	△48
株主資本合計	10,307	10,776
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	528	533
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	696	702
純資産合計	11,004	11,478
負債純資産合計	21,172	22,118

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	12,361	12,839
売上原価		
製品期首棚卸高	3,460	3,379
当期製品製造原価	9,932	10,867
合計	13,393	14,246
他勘定振替高	8	—
製品期末棚卸高	3,379	4,456
売上原価合計	10,005	9,790
売上総利益	2,356	3,048
販売費及び一般管理費		
運搬費	425	297
役員報酬及び給料手当	442	471
賞与引当金繰入額	38	54
退職給付費用	38	32
減価償却費	41	59
研究開発費	377	589
その他	578	646
販売費及び一般管理費合計	1,942	2,151
営業利益	413	897
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	39
為替差益	27	26
雑収入	17	14
営業外収益合計	80	81
営業外費用		
支払利息	50	50
支払手数料	13	35
補助金返還損	24	—
関税費用	0	227
雑損失	7	5
営業外費用合計	96	317
経常利益	397	660
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
支払補償金	29	—
固定資産除却損	78	50
特別損失合計	107	50
税引前当期純利益	289	641
法人税、住民税及び事業税	40	94
法人税等調整額	1	△9
法人税等合計	41	84
当期純利益	248	556

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	3,471	3,250	3,250
会計方針の変更による 累積的影響額			
会計方針の変更を反映した 当期首残高	3,471	3,250	3,250
当期変動額			
自己株式の取得			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	3,471	3,250	3,250

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	利益剰余金					利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金						
		圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	322	44	1,822	1,269	3,457	△47	10,131	
会計方針の変更による 累積的影響額				△6	△6		△6	
会計方針の変更を反映した 当期首残高	322	44	1,822	1,263	3,451	△47	10,125	
当期変動額								
自己株式の取得						△0	△0	
剰余金の配当				△65	△65		△65	
当期純利益				248	248		248	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	182	182	△0	182	
当期末残高	322	44	1,822	1,445	3,634	△47	10,307	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	647	168	815	10,946
会計方針の変更による 累積的影響額				△6
会計方針の変更を反映した 当期首残高	647	168	815	10,940
当期変動額				
自己株式の取得				△0
剰余金の配当				△65
当期純利益				248
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△118	—	△118	△118
当期変動額合計	△118	—	△118	64
当期末残高	528	168	696	11,004

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	3,471	3,250	3,250
当期変動額			
自己株式の取得			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	3,471	3,250	3,250

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	利益剰余金					利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計			
		圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	322	44	1,822	1,445	3,634	△47	10,307	
当期変動額								
自己株式の取得						△0	△0	
剰余金の配当				△87	△87		△87	
当期純利益				556	556		556	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	469	469	△0	469	
当期末残高	322	44	1,822	1,915	4,103	△48	10,776	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	528	168	696	11,004
当期変動額				
自己株式の取得				△0
剰余金の配当				△87
当期純利益				556
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5	—	5	5
当期変動額合計	5	—	5	474
当期末残高	533	168	702	11,478

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	289	641
減価償却費	897	928
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	67
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24	△26
固定資産除却損	78	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△31
受取利息及び受取配当金	△34	△40
支払利息	50	50
関税費用	0	227
支払補償金	29	—
雑収入	△72	△14
雑損失	7	5
売上債権の増減額 (△は増加)	184	△240
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△310	△969
仕入債務の増減額 (△は減少)	545	197
未払消費税等の増減額 (△は減少)	93	△144
その他	78	47
小計	1,862	747
利息及び配当金の受取額	34	40
利息の支払額	△49	△43
法人税等の支払額	△37	△74
支払補償金の支払額	△29	—
その他	6	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,787	668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△99
投資有価証券の売却による収入	—	56
有形固定資産の取得による支出	△380	△1,155
固定資産の除却による支出	△54	△40
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	1	3
無形固定資産の取得による支出	△3	△3
その他固定資産の取得による支出	△3	—
その他固定資産の解約による収入	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△442	△1,237

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	220
長期借入れによる収入	50	200
長期借入金の返済による支出	△379	△399
リース債務の返済による支出	△77	△91
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△65	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772	△158
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	599	△712
現金及び現金同等物の期首残高	1,256	1,856
現金及び現金同等物の期末残高	1,856	1,143

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	504.23円	525.98円
1株当たり当期純利益	11.37円	25.51円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益(百万円)	248	556
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	248	556
期中平均株式数(株)	21,825,275	21,824,435

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	11,004	11,478
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	11,004	11,478
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	21,824,860	21,824,036

(重要な後発事象)

該当事項はありません。